



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ケーユーホールディングス
 コード番号 9856 URL <https://www.ku-hd.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板東 徹行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員経理企画部長 (氏名) 長澤 伸二 TEL 042-796-5381
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	96,643	15.6	5,940	42.7	6,082	40.2	4,171	52.9
2021年3月期第3四半期	83,630	13.0	4,161	2.0	4,338	2.8	2,727	△2.6

(注) 包括利益2022年3月期第3四半期 4,183百万円 (49.2%) 2021年3月期第3四半期 2,804百万円 (△2.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	131.70	124.92
2021年3月期第3四半期	86.67	82.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	74,884	52,025	68.5
2021年3月期	74,822	48,834	64.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 51,305百万円 2021年3月期 48,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	10.00	-	31.00	41.00
2022年3月期	-	10.00	-	-	-
2022年3月期(予想)	-	-	-	40.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,000	8.0	7,400	22.5	7,600	21.6	5,000	28.6	157.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	44,126,024株	2021年3月期	44,126,024株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	12,296,460株	2021年3月期	12,601,460株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	31,674,291株	2021年3月期3Q	31,467,523株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経済活動と個人消費は制限された状況が続きました。10月の緊急事態宣言解除後、ワクチン接種の普及など、経済活動の正常化に向けた動きが期待されたものの、同ウイルスの新たな変異株が確認され再拡大が懸念されるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

自動車販売業界におきましては、第3四半期までの軽自動車を含めた新車登録台数は3,014千台となり、前年同様に比べ6.4%減少いたしました。外国メーカー車につきましては、新車登録台数は190千台（2.3%増加）となりました。また、同期間の軽自動車を含めた中古車登録台数は4,773千台（3.5%減少）となりました。

このような状況のもと、当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。

売上高は、前年同様に比べ13,012百万円増加の96,643百万円（15.6%増加）となりました。利益につきましては、営業利益は前年同様に比べ1,778百万円増加の5,940百万円（42.7%増加）、経常利益は前年同様に比べ1,744百万円増加の6,082百万円（40.2%増加）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同様に比べ1,444百万円増加の4,171百万円（52.9%増加）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお、営業利益合計と連結営業利益の差額は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に属するものであります。

(単位：百万円)

	国産車販売事業		輸入車ディーラー事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
当第3四半期	29,410	2,022	67,233	3,669
前第3四半期	25,907	1,512	57,723	2,391
増減率	13.5 %	33.7 %	16.5 %	53.4 %

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は33,135百万円となり、前連結会計年度末に比べ504百万円減少いたしました。これは、主に有価証券が3,000百万円、商品及び製品が834百万円、その他流動資産が347百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が128百万円増加いたしました。現金及び預金が5,098百万円減少したことによるものであります。固定資産は41,748百万円となり、前連結会計年度末に比べ565百万円増加いたしました。これは、主に無形固定資産が257百万円減少いたしました。有形固定資産が829百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は74,884百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は14,489百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円増加いたしました。これは、主にその他流動負債が965百万円、支払手形及び買掛金が729百万円、未払法人税等が377百万円、賞与引当金が363百万円減少いたしました。1年内返済予定の長期借入金が1,809百万円、未払金及び未払費用が822百万円増加したことによるものであります。固定負債は8,369百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,325百万円減少いたしました。これは、主に長期借入金が2,792百万円、その他固定負債が348百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は22,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,128百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は52,025百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,190百万円増加いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益4,171百万円及び剰余金の配当1,295百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は68.5%（前連結会計年度末は64.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績等を踏まえ、2021年5月13日公表の2022年3月期連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,465	10,367
受取手形及び売掛金	3,083	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	3,211
有価証券	—	3,000
商品及び製品	12,743	13,578
仕掛品	142	262
原材料及び貯蔵品	343	393
前払費用	211	324
その他	1,653	2,001
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	33,639	33,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,898	12,618
機械装置及び運搬具（純額）	3,194	2,945
工具、器具及び備品（純額）	317	289
土地	22,143	22,632
建設仮勘定	469	367
有形固定資産合計	38,024	38,853
無形固定資産	473	215
投資その他の資産		
投資有価証券	1,350	1,364
繰延税金資産	469	366
その他	874	957
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	2,685	2,679
固定資産合計	41,182	41,748
資産合計	74,822	74,884

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,903	2,174
1年内返済予定の長期借入金	2,820	4,629
未払金及び未払費用	1,113	1,936
未払法人税等	1,282	904
賞与引当金	603	240
その他	5,568	4,603
流動負債合計	14,292	14,489
固定負債		
長期借入金	9,645	6,852
繰延税金負債	966	856
資産除去債務	466	488
退職給付に係る負債	148	50
その他	468	120
固定負債合計	11,694	8,369
負債合計	25,987	22,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	12,899	13,093
利益剰余金	39,397	42,273
自己株式	△4,508	△4,399
株主資本合計	47,888	51,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226	238
その他の包括利益累計額合計	226	238
新株予約権	719	719
純資産合計	48,834	52,025
負債純資産合計	74,822	74,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	83,630	96,643
売上原価	68,646	78,979
売上総利益	14,984	17,663
販売費及び一般管理費	10,822	11,723
営業利益	4,161	5,940
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	21	27
受取地代家賃	109	109
受取保険金	33	42
その他	75	29
営業外収益合計	244	213
営業外費用		
支払利息	24	20
貸貸費用	35	35
その他	7	16
営業外費用合計	67	71
経常利益	4,338	6,082
税金等調整前四半期純利益	4,338	6,082
法人税、住民税及び事業税	1,422	1,923
法人税等調整額	188	△12
法人税等合計	1,611	1,911
四半期純利益	2,727	4,171
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,727	4,171

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	2,727	4,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76	11
その他の包括利益合計	76	11
四半期包括利益	2,804	4,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,804	4,183
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来、売上高に計上しておりました手数料収入のうち、顧客以外から受け取る一部手数料については、売上原価の減額として処理しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高及び売上原価はそれぞれ1,690百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。